

## 2021年度 講師派遣活動記録

整理番号: 20211202

<b>事業名</b>	環境教育およびエコロジカルライフを実践するための講座開催事業
------------	--------------------------------

<b>活動名</b>	ごみ減量啓発講座
------------	----------

<b>担当者</b>	高根 美保
------------	-------

<b>主催団体</b>	NPO法人エコライフはままつ
-------------	----------------

<b>事業区分</b>	講師派遣
-------------	------

<b>事業サイクル</b>	継続事業
---------------	------

<b>活動の目的</b>	環境教育の新たな担い手を育成する
--------------	------------------

<b>実施内容</b>	
<b>活動日時</b>	2021年12月2日(木) 13:00~14:00
<b>活動場所</b>	浜松市西部清掃工場
<b>活動者名</b>	高根美保
<b>詳細</b>	環境学習指導員養成講座 ①浜松市のごみの現状と西部清掃工場見学 ②ごみ減量対策と食品ロス問題

<b>事業の成果</b>	<p>参加者: 10名                  配布物 食品ロス削減メモ帳 10冊 スッキリエコ自慢冊子 10冊 ごみ減量リーフレット 10枚                  雑がみ啓発クリアファイル 10枚 紙容器回収袋 10枚・啓発チラシ 10枚                  参加者が用意したリサイクル品 紙容器カップ 約0.20kg 使用済ハブラシ 13本 約0.15kg</p> <p>循環型社会形成推進基本法から廃棄物の適正処理・3Rの推進、各種リサイクル法を説明。その中で容器包装リサイクル法に関する内容を説明。環境マークが付いている商品の正しい出し方の説明から理解を深めた。紙製容器包装では、実証実験中の紙容器リサイクル事業についても説明した。食品ロスでは、料理中に対策できる過剰除去を防ぐ方法を説明。海洋プラスチック問題では、今年10月に行った漂着物の調査後のごみから出た砂の中にあつた小さくなったプラスチックを見て、改めてごみ拾いについて考えていただく機会となった。</p> <p>&lt;質問&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マークの「紙」が付いていたら全て雑がみとしてリサイクル出来ないのか？</li> <li>・雑がみを段ボール箱で集めて、そのまま資源物に出している。段ボールを雑がみとして出せないか？</li> <li>・プラスチック製容器包装は、どのくらいの価格で販売されているのか？</li> <li>・雑がみに牛乳パックは、出せないか？</li> <li>・紙容器は、雑がみで出せないか？</li> <li>・アルミ加工の紙マーク商品を雑がみで出せない理由は？</li> <li>・環境マークを見て分別しているが、正しく出すためには、さらに細かい分別が必要になる。まとめて出すことはできないか？</li> <li>・新聞広告は、何故、新聞と一緒に出せるのか？ 広告を雑がみに出してよいのか？ 以前は、そうであった気がする。</li> <li>・プラスチック容器包装がペットボトルが入っていたらどうなるか？</li> </ul>
--------------	--

<b>事業の課題</b>	環境マークがリサイクルマークと理解している市民が多い。また、分別が必要な理由が理解されていないことが分かった。
--------------	---

記録添付

